

平成２８年度事業報告

平成２８年度 大学地域連携事業報告・・・・・・・・	２頁
平成２８年度 学生支援事業報告　・・・・・・・・	５頁
平成２８年度 インターユニバーシティ・キャンパス 事業報告　・・・・・・・・	９頁
平成２８年度 就職支援事業報告　・・・・・・・・	１２頁
平成２８年度 単位互換事業報告　・・・・・・・・	１７頁
平成２８年度 広報事業報告　・・・・・・・・	２３頁
平成２８年度 法人全体に関わる事業報告・・・	２４頁

(以上)

平成 29 年 3 月 31 日

平成 28 年度 大学地域連携課題解決支援事業部会事業報告

1. 担 当

主担当 滋賀医科大学

副担当 滋賀県立大学、長浜バイオ大学、彦根市

参 画 びわこ学院大学、滋賀短期大学、放送大学

2. 委員会活動

○第 1 回（平成 28 年 5 月 31 日（火））

- ・昨年度の取り組みについて
- ・今年度事業の進め方について

○第 2 回（平成 28 年 6 月 29 日（水））

- ・平成 28 年度大学地域連携課題解決支援事業の採択について
- ・今後の進め方について

○第 3 回（平成 28 年 8 月 3 日（水））

- ・採択事業の具体的な活動予算の請求と支払いについて
- ・環びわ湖大学・地域コンソーシアム中間発表会（大学地域交流フェスタ 2016）の開催について（東近江市から提案の東近江市市民活動推進交流会と共催で開催（12 月 3 日（土））を承認・決定）
- ・来年度事業の日程について（平成 29 年度の事業計画（案）について意見交換、次回部会で方向性の協議）

○第 4 回（平成 28 年 9 月 29 日（木））

- ・大学地域交流フェスタ 2016 の開催について（担当分担の割振り）
- ・次年度事業の計画について

○第 5 回（平成 28 年 10 月 25 日（木））

- ・大学地域交流フェスタ 2016 の準備状況について（当日業務・下見の確認）
- ・大学地域連携課題解決支援事業 2017 募集案内（案）について

○第 6 回（平成 28 年 11 月 28 日（月））

- ・大学地域交流フェスタ 2016 実施会場の見学について（具体的な運営内容の確認）

○第 7 回（平成 29 年 3 月 14 日（火））

- ・平成 29 年度事業計画の第 2 次審査会、事業の内定
- ・平成 28 年度事業の継続確認

3、「環びわ湖大学地域交流フェスタ 2016」の開催

「地域課題解決支援事業部会」と「学生支援事業部会」の活動報告会

- (1) テーマ 大学と地域・市民と学生の持続可能な交流
- (2) 日 時 平成 28 年 (2016 年) 12 月 3 日 (土) 10:00～15:00
- (3) 場 所 東近江市の市民活動推進交流会「わくわくこらぼ村」
- (4) 参加者 県内の大学関係者、学生、地域および自治体関係者など約 300 名
- (5) プログラム

①開会挨拶 びわこ学院大学学長 賀川 昌明

②大学地域連携課題解決支援事業中間活動報告会・質疑応答

第 1 会場【ポスター展示発表会】 11 題

第 2 会場【活動報告会 (ステージ発表)】 11 題

※来場者も評価に参加 (ポスター及び活動報告内容が、素晴らしいと感じる取組をひとつ選び「いいね」と思う活動報告に来場者がシールを貼付、評価結果の上位 3 プロジェクトを表彰)

③活動奨励賞発表・表彰式

【活動奨励賞】 3 団体

団 体 名	取組テーマ・名 称
立命館大学サービス・ラーニングセンター 草津市環境経済部農林水産課	草津野菜の地産地消サポート、農業生産者および消費者の高齢化対策、生産者と消費者がつながる環境づくり
龍谷大学 農学部食料農業システム学科 東近江市 愛東支所	未来につながる「儲かる農業経営」
長浜バイオ大学 長浜市総合政策部総合政策課	理系人材を育てる“サイエンスカフェ”の開催

大学地域連携課題解決支援事業2016

no.	提案者	自治体担当者	大学担当者	取組テーマ	採択額	執行額
1	滋賀医科大学長 塩田 浩平	大津市保健所 健康推進課 酒井 草津市 健康増進課 森田	滋賀医科大学医学部 医学科6年学生 西 明博	学生活動によるがん患者、がん患者家族を支援する活動 がん予防への意識を高める活動	200,000	200,000
2	草津市教育委員会 文化財保護課 課長 藤居 朗	草津市教育委員会 文化財保護課 課長 藤居 朗	立命館大学理工学部 建築都市デザイン学科 教授 及川 清昭 講師 青柳 憲昌	市内に残る歴史的建造物について、今後の保護対策や活用 のための資料を得ることを目的に実態調査をおこなう	100,000	100,000
3	立命館大学 経済学部 金井ゼミ 客員教授 金井 萬造	甲賀市 総合政策部政策推進課 主事 折田 みゆき 産業経済部 観光企画推進室	立命館大学経済学部 客員教授 金井 萬造	「あいの土山 道の駅」再生・地域活性化拠点形成計画	100,000	100,000
4	立命館大学 サービスラーニングセンター センター長 高嶋 正晴	草津市 環境経済部農林水産課 特産振興グループ 主任 湯浅 圭太	立命館大学 共通教育推進機構 講師 宮下 聖史 サービスラーニングセンター 主事 高橋 あゆみ	草津野菜の地産地消サポート、農業生産者および消費者の 高齢化対策、生産者と消費者がつながる環境づくり	100,000	100,000
5	滋賀短期大学 ビジネスコミュニケーション学科 学科長 小山内 幸治	草津市 総合政策部企画調整課 主任 高橋佑輔	滋賀短期大学 総務課長心得 中村治 重	ゆるキャラ「たび丸」を活かした「カミッシュ」による草津市の国 際的PRの試み	50,000	50,000
6	東近江市 市長 小椋 正清	東近江市 愛東支所 副支所長 奥村 清和	龍谷大学 農学部 食料農業システム学科 教授 淡路 和則	未来につながる「儲かる農業経営」	200,000	192,699
7	東近江市 市長 小椋 正清	東近江市 総務部総務課 主幹 栗田 豊一	びわこ学院大学 短期大学部 ライフデザイン学科 教授 谷口 浩志	東近江市における空家の調査とその活用に向けての提案と 実践	200,000	129,338
8	彦根市生活環境課 主任 山本 武	彦根市生活環境課 主任 山本 武	滋賀県立大学 環境科学部 環境生態学科 准教授 野間 直彦 環境政策・計画学科	学生と市民が主体で取り組むナガエツルノゲイトウ等の駆除 大作戦	100,000	100,000
9	長浜バイオ大学 学長 三輪 正直	長浜市 総合政策部総合政策課 課長兼部次長 米田幸子 事務担当:主査 富永 拓	長浜バイオ大学 学生教育推進機構 学習・就業力支援担当 課長 杜下 好恵	理系人材を育てる“サイエンスカフェ”の開催	200,000	162,337
10	サークルワークス 代表 松井 敬樹	大津市 産業観光部観光振興課 杉本 裕介	龍谷大学理工学部 情報メディア学科 岩嶋 浩樹	びわ湖大津の魅力発信！ステキな動画製作事業	200,000	195,956

1,450,000 1,330,330

平成28年度学生支援事業報告

1. 担当

主担当 滋賀大学

副担当 立命館大学、成安造形大学

参画 びわこ成蹊スポーツ大学、滋賀文教短期大学、放送大学

2. 事業概要

平成27年度は「学生の力を活かした地域づくりと滋賀の魅力の発掘、発信」をコンセプトに「湖西・湖南・湖東」という3つのチームを編成し、(1) 滋賀県との連携企画、(2) 滋賀県魅力発信ポスターの作成の2つのプロジェクトを行った。

平成26年度は、従来の学生同士の交流を踏まえつつ、滋賀県庁や大津市、草津市、彦根市とも連携し、滋賀県PR冊子を作成した。

平成28年度の学生支援事業部会の取り組みは、「学生による滋賀県魅力PRプロジェクト」とし、コンセプトは、学生の視点を活かした滋賀県の魅力発見と地域への情報発信とした。

活動内容としては、13大学から選出された学生および教職員でチームを編成し、新たな取り組みとして「滋賀県魅力PR動画の制作」を行う。参加学生が滋賀県の各地域を訪問し、そこで地域の方々に取材したり、交流を深めたりしている様子を映像制作会社に撮影してもらう。参加学生と映像制作会社で映像の編集について意見交換を行い、動画を完成させる。完成したPR動画は環びわ湖大学・地域コンソーシアムや滋賀県等のホームページに掲載し、事業の成果物として発信するといった活動内容である。

3. 事業報告

①滋賀県魅力PRプロジェクトの年間計画の具体化

6月20日(月)、環びわ事務局において、滋賀県職員(観光交流局、広報課)との打ち合わせを行い、候補地選定の参考として、「水と暮らしの文化」「水と祈りの文化」「水と食の文化」などが掲載されている『日本遺産・滋賀』(文化庁発行)などの資料の説明を受けた。

②参加学生の募集

本年度の事業の実施にあたり、6月1日(水)に第1回目の学生支援事業部会会議を開催し、滋賀県魅力PRプロジェクトとしてPR動画を制作することが確認され、今年度は3チームに分かれるのではなく、1グループで実施することとし、各大学から

2～3名の学生を、6月24日（金）を主担当校（滋賀大学）の集約締め切りとして募集した。参加学生は以下のとおりである。

1. 長浜バイオ大学：4回生 1名
 2. 滋賀文教短期大学：1回生 2名
 3. 滋賀大学：2回生 2名、1回生 1名
 4. 滋賀県立大学：2回生 3名
 5. 聖泉大学：2回生 2名、1回生 2名
 6. びわこ学院大学・短期大学部：1回生 2名
 7. 立命館大学（びわこ・くさつキャンパス）：2回生1名、3回生1名
 8. 滋賀医科大学：2回生 2名
 9. 龍谷大学（瀬田学舎）：1回生 1名
 10. 放送大学（滋賀学習センター）：参加者なし
 11. 滋賀短期大学：2回生 3名
 12. 成安造形大学：2回生 1名、1回生 1名
 13. びわこ成蹊スポーツ大学：3回生 3名
- 計 28 名

③PR 動画制作場所の決定

第1回目の担当者会議を7月20日（水）に行った。

会議では、びわ湖放送企画営業部長（竹内氏）から、滋賀の何を伝えたいか、撮影をスムーズに進めるための絵コンテ、音楽著作権についての注意事項など、映像制作についての説明を受け、その後学生同士で話し合い、①矢橋帰帆島公園（家族で楽しめる）、②びわ湖バレイ（きれいなびわ湖を撮影できる、学生が楽しめる動画が撮影できる）、③永源寺、忍者村（自然＋体験型の動画が取れる）、④近江神宮（歴史と話題性）が撮影の候補地として挙げられ、他府県にない滋賀らしさ、映像の動きの伝えやすさから、『びわ湖バレイ』を撮影地と決定した。

今後は、夏休み中である8～9月の間に現地下見、絵コンテ作成打合せ、撮影は予備を含め2回行うこととなった。

④PR 動画制作のための現地訪問等

- ・9月1日（木）：撮影地である『びわ湖バレイ』の下見。

学生 15名、職員 5名 参加

下見に先立ち、びわ湖放送竹内氏より、「びわ湖バレイがどのようなところか」「どのような良さがあるか」「どのような映像を作れば滋賀をPRできるか」という視点で現場を視察し、撮影現場を決めるよう説明があった。

下見の後、一人ずつ感想・撮影したい物などを発表し、意見を集約して映像のイメージを共有した。

・ 9月2日（金）：動画作成絵コンテ作成会議

学生 13名、職員 5名 参加

絵コンテ（シナリオ）作成に先立ち、びわ湖放送竹内氏より、絵コンテについての説明を受け、まずは各自で絵コンテを作成し、それぞれの案を発表した。

その後、全体で意見を交換し2つの案に集約され、2つの班に分かれて、1～3分程度の映像を2つ（ターゲットを一般と学生）作成することとなった。

・ 9月8日（木）：『びわ湖バレイ』撮影（15日（木）予備日）

学生 9名、職員 3名 参加

びわ湖バレイ山頂の悪天候により、現場での撮影ができないため、麓で動画の導入部分を撮影した。

・ 9月15日（木）：『びわ湖バレイ』撮影

学生 7名、職員 2名 参加

絵コンテ（シナリオ）にしたがい、ジップラインや遊具、琵琶湖などを学生を交えて撮影した。当日は曇り空であり、バックの琵琶湖がぼやけていたため、びわ湖放送の方が別日にバック（琵琶湖）の後撮りをしてもらうこととなったが、一応、撮影は完了した。

多数の学生が参加できるように日程調整をしたが、結果的に学生7名の参加であった。

⑤PR 動画編集会議の開催

第2回目の担当者会議を10月17日（月）に行った。

会議では、びわ湖放送企画営業部長（竹内氏）から、仮完成したPR動画2点の試写とともに説明があり、意見交換を行った。出された意見をもとに、大学地域交流フェスタ2016までに修正を加え、各自が確認できるようにすることとされた。

また今後の日程として、12月3日（土）開催の大学地域交流フェスタ2016について、資料に基づき情報を共有した。

⑥地域連携フェスタへの参加

12月3日（土）に東近江市で開催された、環びわ湖大学・地域コンソーシアム大学地域交流フェスタに、8大学13名の学生が参加した。

活動報告会においては「学生による滋賀県魅力PRプロジェクト」として、今年度の取組を報告するとともに、ポスターセッション会場において、ポスターとともに完成したPR動画2本をテレビモニタで放映した。

また、当該活動報告会の司会を学生支援事業の学生2名で行った。



⑦次年度に向けた効果検証会議の開催

第3回目の担当者会議を2月24日（金）に行った。

「学生による滋賀県魅力PR事業」の到達点として、完成した「滋賀県PR動画」について、振り返り及び意見交換を行った。また、次年度の学生支援事業について、幹事会で審議している平成29年度事業計画概要案に基づき、意見交換を行った。

以上

平成29年3月31日

平成28年度インターユニバーシティ・キャンパス推進事業報告

1. 担 当

主担当 滋賀県立大学

副担当 滋賀大学

参 画 龍谷大学、立命館大学、成安造形大学、大津市、東近江市、長浜市

2. 部会活動

○第1回（平成28年6月14日（火））

- ・「地域みらいキャンパス×ソーシャルデザイン」について意見交換
- ・受託研究：第1回県、市町、大学等代表者会議の開催について
- ・「おうみ学生未来塾」の受講状況と今後の予定
- ・地域課題解決のための大学・自治体協働に関する調査の設計について
→ 調査依頼文書発出 6月30日 回答期限8月5日

○第2回（平成28年7月26日（火））

第1回県、市町、大学等連携代表者会議への参加

（内容）基調講演 「地域と大学の未来をつくる地域・大学連携」

高知大学地域協働学部・学部長 上田健作教授

事例報告 「近江八幡未来づくりキャンパスの取り組み」

株式会社まっせ 田口真太郎 氏

フロアトーク

お知らせ 地域課題解決のための大学・自治体協働に関する調査、実証研究
について

○「おうみ学生未来塾」の実施

長浜バイオ大学 8月22日から24日 長浜市 受講者10名

（長浜バイオ大学のみ）

*当初登録 長浜バイオ大10名 立命館大3名 滋賀大2名 計15名

県立大学 8月19日から21日 東近江市 受講者42名

（県立大 32名 立命館大10名）

*当初登録 県立大38名 立命館大12名 計50名

○第3回（平成28年10月7日（金））

- ・地域課題解決のための大学・自治体協働に関する調査結果の実施状況
- ・おうみ学生未来塾の今後について

○第4回（平成28年11月14日（火））

I Uキャンパス×ソーシャルデザインの実証協議に出席・評価（東近江市分）

地域課題

少子高齢化・人口減少が進行しているため、東近江市では対策として「空家バンク制度」「定住移住推進補助金」を創設し、地域の定住移住を促進している。自治会が主体的に諸行事や運営形態等を見直し、検討を行う際の経費補助「住み続けたい地域づくり交付金」も創設しているが多くの自治会では危機感を抱きながらもどう行動したらよいかわからない。地域住民が自らの地域に目を向け、住み続けたいと思えるような地域を形成し地域自治の機能低下に歯止めをかけるため、行政が地域に働きかけを行う際や地域住民が検討を行う際に、大学が有しているワークショップやのノウハウや地域運営に関するノウハウ等を提供いただき協働モデル事業に取り組んでいきたい。

今後の対応

- ・東近江市の課題に対する大学連携については、今回の協議内容やつながりを活かし、「住み続けたい地域づくり交付金」の募集時期等で連携できるように検討する。
- ・地域課題と大学のマッチングを効果的に行えるようにするためには、地域課題について学術的視点で再評価し、大学教員につなげるコンシェルジュのような窓口機能や、地域が抱える課題について定期的に大学教員と話し合える場が必要であることがわかった。

○「おうみ学生未来塾」PBL研修の実施

平成28年11月29日（火）14:00～17:00 環びわ湖大学・地域コンソーシアム会議室

研修内容①「おうみ学生未来塾・湖東」と滋賀県立大学にとってのPBL学習

滋賀県立大学地域共生センター 上田洋平 助教

②「おうみ学生未来塾・湖北」と長浜バイオ大学にとってのPBL教育

長浜バイオ大学バイオサイエンス学部 松島三兒 教授

滋賀大学環境総合研究センター 近藤紀章 プロジェクト研究員

③大学コンソーシアム京都「世界遺産PBL科目」とPBL教育

大学コンソーシアム京都・世界遺産PBL科目担当教員

立命館大学 桜井政成 教授

④全体討議

○第5回（平成29年1月12日（木））

I Uキャンパス×ソーシャルデザインの実証に出席・評価（長浜市）

地域課題

ア．「ICTを活用した地域コミュニティ維持—スマートアプリ等を利用した広報、各種配布物のペーパーレス化の検討—」

イ．「市民活動における公民館（市民まちづくりセンター）の活用」

＊長浜市では29年4月から全公民館が市民まちづくりセンターに転換する。

今後の対応

ア．長浜市では防災部局の防災無線デジタル化基本設計とコミュニティ活用検討を一緒に進めているので、基本設計過程で検討委員会を設置して大学が参加することが可能かどうか、市の意向を検討してもらい、可能なら連携可能大学に打診する。

イ．センターの管理運営者（まちづくり協議会、地域活性プランナー）、主要利用者、行政の地域担当職員を対象として、対象者別に従来の公民館活動や社会教育になかった考え方による対象者の意識改革や、それを実現するメソッド（ファシリテーション、問題解決法等）を身につけてもらう年間の人材育成プログラムを講座運営委員会を設けて検討・実施することを長浜市で検討し、各大学に打診する。

○第6回

I Uキャンパス×ソーシャルデザインの実証（大津市）

（新規協議課題がないため開催せず）

○第7回（平成29年3月2日（木））

第2回県、市町、大学等連携代表者会議への参加

基調講演 「大学と地域の連携事業の現状と課題、今後の方向」

一公益社団法人 大学コンソーシアム石川の地域連携事例より一

（公社）大学コンソーシアム石川 運営委員会委員

金沢星稜大学学長補佐・人間科学部教授 池田幸應

報告事項 「地域課題解決のための大学と自治体の連携・協働に関する調査および実証結果について」

環びわ湖大学・地域コンソーシアム事務局長 堀部 栄次

意見交換 「地域と行政と大学の連携・協働をさらに進めるために必要なこと」

コーディネータ 環びわ湖大学・地域コンソーシアム顧問 仁連孝昭

以上

平成28年度就職支援事業報告

大学産業連携事業委員会
就職支援事業部会

平成28(2016)年度の新卒求人倍率は、景況感を反映して5年連続で続伸し1.74倍(昨年度1.73倍)となり、全国の民間企業の求人総数も前年の71.9万人から73.4万人へと1.5万人増加した(リクルートワークス研究所調査より)。結果として、厚生労働省が取りまとめた平成29(2017)年3月卒業予定の大学生の就職内定率(2月1日現在)は、前年同期比2.8pt増の90.6%となり、調査開始以降、同時期で過去最高の数値を記録した。

平成28(2016)年度就職支援事業は、合同企業説明会を中心に実施してきた前年度の事業内容を踏襲し、行政機関、経済団体と連携して取り組んできた。

同時に、この数年合同企業説明会に偏ってきた就職支援事業全体の見直しを行い、各団体との意見交換の取り組みを開始するなど、就活を取り巻く環境の変化を踏まえた就職支援事業のあり方についても検討をすすめている。以下、平成28(2016)年度の事業内容について報告する。

1. 就職支援事業部会：(主担当校)立命館大学、(副担当校)聖泉大学

(参画校)龍谷大学、びわこ学院大学、滋賀短期大学、
長浜バイオ大学、びわこ成蹊スポーツ大学

2. 平成28(2016)年度事業

(1) 合同企業説明会(協力)

開催済 17回。参加学生総数 1,536名、参加企業数 731社。

(2) 滋賀県企業人事担当者と大学就職・進路担当者との情報交換会

- 平成28年9月21日に理系4大学就職担当者と企業人事担当者との懇談会を実施済。

参加企業 32社、45名。

4大学(龍谷大学、滋賀県立大学、長浜バイオ大学、立命館大学)

- 平成29年3月6日に10大学・短期大学と企業人事担当者との意見交換会を実施済。

参加企業 45社

10大学(滋賀大学、滋賀県立大学、龍谷大学、長浜バイオ大学、成安造形大学、

びわこ学院、びわこ成蹊スポーツ大学、滋賀短期大学、滋賀文教短期大学、聖泉大学)

(3) 大学就職・進路担当者間の情報交換会・研修会

- 平成28年9月9日と平成29年2月24日に各自治体、団体、大学間にて意見交換会を実施済。
今後の各自治体、団体の取り組みの見直しを進め、より地元企業への就職がすすむ取り組みへの移行を促した(合説の合同開催や県外開催、4年間を通した取り組みの検討等)。

- 平成29年1月20日(金)10:00~17:00にコンソーシアム就職支援担当者研修を実施済。

講師：(株)リクルート リクナビ副編集長 山下 大輝 氏

内容： 2017卒採用の概要と2018卒採用の展望、必要な支援

適性検査SPI3について

面接実践の基本、面接総合ロールプレイ、面接の振り返り

参加者 11大学、2関係団体 13名

- (4) 学生を対象とした就職活動に活かす滋賀の業界研究会
平成 28 年 12 月 10 日「環びわ・しが就活塾 1 day ワークショップ」として実施済。
参加学生数 23 名
協力企業：たねやグループ、日吉、滋賀特機、清水合金製作所、オーケーエム
協力：滋賀県中小企業団体中央会
- (5) 滋賀県との共催事業
平成 28 年 11 月 26 日 「ハッピーキャリアカフェ」の開催協力済。
- (6) 企業採用経験者による模擬面接会
新卒対象者に滋賀経済産業協会に協力いただき、企業採用経験者による模擬面接会を開催
5 月 16 日 滋賀県立大学 13 名、5 月 20 日 滋賀大学 7 名、5 月 23 日 滋賀大学 6 名、
6 月 1 日 びわこ学院大学 25 名

3. 次年度以降の課題

- (1) 就活を取り巻く環境の変化、各自治体、団体、大学間の意見交換会や予算状況を踏まえて、就職支援事業部会としての役割、支援事業内容を見直す必要がある。
- (2) 今後就職支援事業部会（大学産業連携事業委員会）として目指す具体的な役割のイメージ（案）
「学生（大学）」「地元企業」「自治体、団体」の「三方良し」を目指す。

<役割>

- ・滋賀県内の地元就職のために、関係する自治体、団体の取り組みがより有効になるための情報提供や大学の取り組み、学生の動き等を情報提供する役割。
- ・関係する自治体、団体、大学の取り組みをつなげる役割。
- ・学生に、県内地元就職のために有効な「地元企業への就活の流れ」を分かりやすく伝える役割。

<全体的な取り組み>

- ・定期的に各自治体、団体、参画大学間で意見交換会を実施する（年 1 回）

<県、各自治体、労働局、経済団体向けの取り組み>

- ・各大学の学生の動きや大学の就活イベントのスケジュール、学年暦等の情報交換。
- ・学生の動きやインターンシップ増加の流れを見据えた会員企業向けの研修等の検討依頼。
- ・マッチングに有効な合同企業説明会の時期、場所（県外含む）、内容の検討依頼。

<学生向けの取り組み>

- ・2 年間、4 年間を通じた地元企業への就職のプロセスを示す。
（インターン、業界理解、企業理解、企業説明会をどの時期にどう活用していくのが良いのか）
- ・就職支援事業部会が推奨する地元企業の合同企業説明会、インターンシップ（年間や個別スケジュール）等の情報を伝える。

<参画大学職員向けの取り組み>

- ・企業（大手、地元）の採用動向の理解を深める。
- ・滋賀県の就労状況、各自治体、団体の取り組み、企業支援の目的や情報等の理解を深める。
- ・学生の就職支援に関わる職員の力量向上を図る。
- ・参画大学間の支援レベルの向上を目指した情報交換。

4. 参考資料

- (1) 平成 28 年度就職支援事業計画

以 上

2016年度 就職支援事業一覧

		2016年度事業	担当校	2015年度事業	2015年度担当校
	①	日時 6/22「滋賀学生フェア 2016」草津会場 場所 クサツエストピアホテル 主催:滋賀労働局、ハローワーク、滋賀経済産業協会、滋賀県中小企業団体中央会ほか 協力:環びわ湖大学・地域コンソーシアム 参加企業:74社 参加学生数:233名(新卒:194名、既卒:39名)	【湖南会場①】 立命館大学	【湖南会場①】滋賀学生 就職フェア 日時:2015年8月26日(水) 場所:大津プリンスホテル 主催:滋賀労働局、ハローワーク、滋賀経済産業協会、滋賀県中小企業団体中央会ほか 協力:環びわ湖大学・地域コンソーシアム 参加企業:102社 参加学生数:246名(新卒:201名、既卒:45名)	【湖南会場①】 龍谷大学
	②	日時 6/28「滋賀学生就職フェア 2016」長浜会場 場所 北ビワコホテルグラツィエ 主催:滋賀労働局、ハローワーク、滋賀経済産業協会、滋賀県中小企業団体中央会ほか 協力:環びわ湖大学・地域コンソーシアム 参加企業:60社 参加学生数:130名(新卒:118名、既卒:12名)	【湖北会場①】 長浜バイオ大学	【湖北会場①】滋賀学生 就職フェア 日時:2015年9月3日(木) 場所:北ビワコホテルグラツィエ 主催:滋賀労働局、ハローワーク、滋賀経済産業協会、滋賀県中小企業団体中央会ほか 協力:環びわ湖大学・地域コンソーシアム 参加企業:59社 参加学生数:123名(新卒:107名、既卒16名)	【湖北会場①】 長浜バイオ大学
	③	日時 7/15「湖東地域就職フェア」 場所 ホテルニューオウミ(近江八幡市) 主催:ハローワーク東近江、近江八幡商工会議所、東近江地域雇用対策協議会ほか 共催:環びわ湖大学・地域コンソーシアム 参加企業:43社 参加学生数:76名(内訳:新卒61名、既卒15名)	【湖東会場①】 聖泉大学	【湖東会場①】 日時:2015年8月6日(木) 場所ホテルニューオウミ(近江八幡市) 主催:ハローワーク東近江、近江八幡商工会議所、東近江地域雇用対策協議会ほか 共催:環びわ湖大学・地域コンソーシアム 参加企業:36社 参加学生数:102名(内訳:新卒78名、既卒24名)	【湖東会場①】 聖泉大学
	④	日時 8/04「甲賀JOBフェア」 場所 碧水ホール 参加企業30社、学生数46名 主催:甲賀市、ハローワーク甲賀 日時 8/24「甲賀JOB in草津」*新規 場所 クサツエストピアホテル 参加企業40社、学生数41名	【湖東会場②】 びわ湖学院大学 びわ湖学院大学	【湖東会場②】 日時:2015年8月4日(火) 場所:碧水ホール 主催:甲賀市、ハローワーク甲賀 協力:環びわ湖大学・地域コンソーシアム 参加企業:31社 参加学生数:124名(内訳:新卒68名、既卒56名)	【湖東会場②】 びわこ学院大学
	⑤	日時 8/05「東近江市で働こう! 合同就職面接会」 場所 能登川コミュニティセンター 主催:東近江市就労対策協議会 協力:環びわ湖大学・地域コンソーシアム 参加企業:38社 参加学生数:42名(新卒32名、既卒10名)	【湖東会場③】 びわこ学院大学	【湖東会場③】東近江市面接会 日時:2015年10月20日(火) 場所:東近江市役所 主催:東近江市就労対策協議会 協力:環びわ湖大学・地域コンソーシアム 参加企業:37社 参加学生数:65名(新卒48名、既卒17名)	【湖東会場③】 びわこ学院大学
	⑥	日時 8/17「おおつ学生就職フェア」 場所 びわ湖ホテル 主催:大津市 共催:環びわ湖大学・地域コンソーシアム、ハローワーク大津、滋賀県中小企業団体中央会 参加企業:59社 参加学生数:188名	【湖南会場②】 立命館大学	【湖南会場②】 日時:2015年9月1日(月) 場所:びわ湖ホテル 主催:大津市 共催:環びわ湖大学・地域コンソーシアム、ハローワーク大津、滋賀県中小企業団体中央会 参加企業:50社 参加学生数:69名	【湖南会場②】 滋賀短期大学
	⑦	新規 日時 8/30「あいの甲賀土山企業面接会」 場所 ダイヤモンド滋賀 主催:あいの甲賀土山合同企業面接会実行委員会 参加企業:9社 参加学生数:12名(新卒4名、既卒8名)			
	⑧	新規 日時 9/14「びわ湖たかしま就職フェア」 場所 高島市観光物産プラザ 主催 高島市 参加企業:27社 参加学生数:38名(内訳不明)			
	⑨	日時 10/06「彦根地区合同企業説明会」 場所 マリアージュ彦根 主催:彦根地区雇用対策協議会 彦根公共職業安定所 協力:彦根商工会議所 滋賀新卒応援ハローワーク(一社)環びわ湖大学・地域コンソーシアム 参加企業:42社 参加学生数:37名(新卒27名、既卒10名)	【湖東会場④】 聖泉大学	【湖東会場④】彦根地区合同企業説明会 日時:2016年8月20日 場所:マリアージュ彦根 主催:彦根地区雇用対策協議会 彦根公共職業安定所 協力:彦根商工会議所 滋賀新卒応援ハローワーク(一社)環びわ湖大学・地域コンソーシアム 参加企業:47社 参加学生数:87名	【湖東会場④】 びわこ学院大学
	⑩	日時 10/25「滋賀学生就職フェア 2016」 場所 クサツエストピアホテル 主催:滋賀労働局、ハローワーク、滋賀県、滋賀経済産業協会、おうみ若者未来サポートセンター 協力:環びわ湖大学・地域コンソーシアム、滋賀県中小企業団体中央会 参加企業:60社 参加学生数:128名(新卒:85名、既卒:43名)	【湖南会場③】 龍谷大学		

2016年度 就職支援事業一覧

		2016年度事業	担当校	2015年度事業	2015年度担当校
	⑪	日時 10/14「湖北就活ナビ」2016 場所 長浜バイオ大学 主催: 湖北就活ナビ実行委員会(長浜市、米原市) 共催: 環びわ湖大学・地域コンソーシアム、ハローワーク長浜、湖北地域雇用対策協議会 参加企業: 50社 参加学生数: 96名(新卒75名、既卒21名)	【湖北会場②】 長浜バイオ大学	【湖北会場②】 日時: 2015年11月6日(金) 場所: 長浜バイオ大学 主催: 湖北就活ナビ実行委員会(長浜市、米原市) 共催: 環びわ湖大学・地域コンソーシアム、ハローワーク長浜、湖北地域雇用対策協議会 参加企業: 53社 参加学生数: 95名(内訳: 新卒71名、既卒24名)	【湖北会場②】 長浜バイオ大学
	⑫	日時 11/28 「東近江市で働こう! 合同就職面接会」 場所 能登川コミュニティセンター 主催: 東近江市就労対策協議会 協力: 環びわ湖大学・地域コンソーシアム、おうみ若者未来サポートセンター 参加企業: 36社 参加学生数: 39名(新卒: 22名、既卒: 17名)	びわこ学院大学	【湖東会場】16卒対象 日時: 2016年2月26日(金) 場所: ショッピングプラザアピア 4階アピアホール・研修室 主催: 東近江市就労対策協議会 協力: 環びわ湖大学・地域コンソーシアム、おうみ若者未来サポートセンター 参加企業: 36社 参加学生数: 50名	【湖東会場】 びわこ学院大学
	⑬	日時 2017/02/9 「高島市合同就職面接会」 場所 高島市観光物産プラザ 主催 高島地域雇用創造協議会 参加企業: 43社 参加者数: 103名(厚生労働省事業、事業趣旨が中途採用者の就職支援であるため新卒者はなし)		日時: 2016年2月5日(金) 場所: 高島市観光物産プラザ 主催: 高島地域雇用創造協議会	
	⑭	18卒対象 日時 2017/02/21 「滋賀学生・若年者就職フェア 2017」 場所 クサツエストピアホテル 主催: 滋賀労働局、ハローワーク、滋賀経済産業協会、滋賀県中小企業団体中央会ほか 協力: 環びわ湖大学・地域コンソーシアム 参加企業: 60社 参加学生数: 78名	【湖南会場④】 滋賀短期大学	【湖南会場③】 日時: 2016年2月15日(月) 場所: クサツエストピアホテル 主催: 滋賀労働局、ハローワーク、滋賀経済産業協会、滋賀県中小企業団体中央会ほか 協力: 環びわ湖大学・地域コンソーシアム 参加企業: 57社 参加学生数: 108名	【湖南会場③】 立命館大学
	⑮	18卒対象 日時: 2017/3/9 場所: マリアージュ彦根 主催: 彦根地区雇用対策協議会 彦根公共職業安定所 参加企業: 43社 参加学生数: 103名	【湖東会場⑤】 聖泉大学	【湖東会場⑤】17卒対象 日時: 2016年3月10日(木) 場所: マリアージュ彦根 主催: 彦根地区雇用対策協議会、彦根公共職業安定所 協力: 彦根商工会議所、滋賀新卒応援ハローワーク、環びわ湖大学・地域コンソーシアム 参加企業: 45社 参加学生数: 182名	【湖東会場⑤】 びわこ学院大学
	⑯	18卒対象 日時: 2017/03/16「滋賀・湖北就職セミナー」 場所: 文化産業交流会館(米原市) 主催: 長浜商工会議所・学卒採用戦略委員会 参加企業: 17社 参加学生数: 146名		17卒対象 日時: 2016年3月25日(金) 場所: 文化産業交流会館(米原市) 主催: 長浜商工会議所・学卒採用戦略委員会 参加企業: 20社	
				【湖南会場】 未実施	【湖南会場】 びわこ成蹊スポーツ大学
				リクルーターフェス 日時: 2015年6月29日(月) 場所: クサツエストピアホテル 主催: 滋賀県、滋賀県中小企業団体中央会 共催: 滋賀労働局、ハローワーク 協力: 環びわ湖大学・地域コンソーシアム 参加企業: 47社 参加学生数: 119名(新卒: 79名、既卒40名)	龍谷大学
	学生企画による 合同企業説明会	今年度はなし	立命館大学	【湖北会場③】 日時: 2016年3月17日(木) 場所: 文化産業交流会館 主催: 滋賀県、滋賀県中小企業団体中央会 協力: 環びわ湖大学・地域コンソーシアム 参加企業: 52社 参加学生数: 176名	【湖北会場③】 龍谷大学
			立命館大学	【湖南会場④】 日時: 2016年3月24日(木) 場所: クサツエストピアホテル 主催: 滋賀県、滋賀県中小企業団体中央会 協力: 環びわ湖大学・地域コンソーシアム 参加企業: 52社 参加学生数: 336名	【湖南会場④】 龍谷大学
	留学生就職面接会	今年度はなし		【湖南会場】 日時: 2015年12月2日(水) 場所: クサツエストピアホテル 主催: 滋賀経済産業協会 共催: 環びわ湖大学・地域コンソーシアム 参加企業: 12社 参加留学生数: 9名	【湖南会場】 立命館大学

		2016年度事業	担当校	2015年度事業	2015年度担当校
2)滋賀県企業人事担当者と大学就職担当者との情報交換会		日時 9/21 理系4大学と企業との交流・懇親会 場所 クサツエストピアホテル 参加企業:33社(44名) 参加大学:4大学(11名) 主催:滋賀経済産業協会、環びわ湖大学・地域コンソーシアム ※加盟理系4大学と滋賀経済産業協会加盟企業との懇談会	立命館大学	日時:2015年9月24日(木)15:00～19:00 場所:クサツエストピアホテル 参加企業:30社 参加大学:4大学(16名) 主催:滋賀経済産業協会、環びわ湖大学・地域コンソーシアム ※加盟理系4大学と滋賀経済産業協会加盟企業との懇談会	(主担当校)龍谷大学 (副担当校)立命館大学
		日時 1/20 「就職担当職員のSPIおよび面接官トレーニング」(仮称) 場所:環びわ湖大学・地域コンソーシアム セミナールーム 参加大学: 7大学 主催:滋賀経済産業協会、環びわ湖大学・地域コンソーシアム	びわこ成蹊スポーツ大学	日時:2016年3月2日(水)15:00～17:20 場所:クサツエストピアホテル 参加企業:33社 参加大学:11大学 主催:滋賀経済産業協会、環びわ湖大学・地域コンソーシアム	(主担当校)龍谷大学 (副担当校)立命館大学
				実施なし(滋賀県中小企業団体中央会)	(主担当校)龍谷大学 (副担当校)立命館大学
3)大学就職担当者間の情報交換会・研修会の実施		日時 9/9 滋賀県中小企業団体中央会との懇談会 場所:環びわ湖大学・地域コンソーシアム セミナールーム 参加大学:7大学(7名)、中央会:3名、環びわ湖大学・地域コンソーシアム事務局	立命館大学、聖泉大学	日時:2015年9月11日(金)13:30～17:00 場所:環びわ湖大学・地域コンソーシアム セミナールーム 参加大学:11大学 参加者:16名 第1部:研修会(講演会) 講題:「発達障害学生の修学と進路支援を考える」 講師:びわこ学院大学 教育福祉学部 黒田 吉孝 教授 第2部:研修会(講演会) 講題:「大学と県との連携によるライフ&キャリア教育について」 講師:滋賀県商工観光労働部女性活躍推進課 主幹 山田 裕子 氏 他3名 第3部:情報交換会	(主担当校)びわこ学院大学 (副担当校)滋賀短期大学
		日時 9/9 関係機関との意見交換会 場所:環びわ湖大学・地域コンソーシアム セミナールーム 参加大学:7大学(7名)、中央会:2名、労働局:1名、滋賀県:2名、ヤングジョブセンター:1名、滋賀県経済産業協会:1名、大津市:1名、東近江市:1名、長浜市:2名、甲賀市:1名、環びわ湖大学・地域コンソーシアム事務局	立命館大学、聖泉大学		
4)学生を対象とした就職活動に活かす企業訪問会	企業訪問	今年度はなし		【企業見学バスツアー①】 日時:2015年11月16日(月) 訪問企業:(株)日立建機ティアラ、(株)センチュリー 主催:甲賀市、滋賀県中小企業団体中央会 共催:環びわ湖大学・地域コンソーシアム 参加者数:3名	長浜バイオ大学・聖泉大学
				【企業見学バスツアー②】 日時:2015年11月19日(木) 訪問企業:(株)滋賀松風、(株)コーガアイソトープ 主催:甲賀市、滋賀県中小企業団体中央会 共催:環びわ湖大学・地域コンソーシアム 参加者数:2名	長浜バイオ大学・聖泉大学
				【企業見学バスツアー③】 日時:2015年12月3日(木) 訪問企業:(株)ハ代製作所、(株)ニューリー土山 主催:甲賀市、滋賀県中小企業団体中央会 共催:環びわ湖大学・地域コンソーシアム 参加者数:4名	長浜バイオ大学・聖泉大学
				【企業見学バスツアー④】 日時:2015年11月25日(水) 訪問企業:びわ湖放送(株)、オプテックス(株) 主催:滋賀県、滋賀県中小企業団体中央会 共催:環びわ湖大学・地域コンソーシアム 参加者数:学生29名(内訳:関大10名、龍大7名、京産大6名、阪大2名、他)教職員3名	長浜バイオ大学・聖泉大学
				【企業見学バスツアー⑤】 日時:2016年2月19日(金) 訪問企業:甲賀高分子(株)、富士電波工業(株) 主催:滋賀県、滋賀県中小企業団体中央会 共催:UIJターン人材拠点(名古屋)、NPO法人G-net 協力:環びわ湖大学・地域コンソーシアム 参加人数:44名	
	学生を対象とした就職活動に活かす就職イベント(ミニ・インターンシップ)	日時 12/10 「環びわ・しが就活塾」 場所 近江八幡市 男女共同参画センター 主催 滋賀中小企業団体中央会、環びわ湖大学・地域コンソーシアム、COC(文部科学省地方創生推進事業) 参加企業:5社 (株)日吉、たねやグループ、滋賀特機(株)、(株)清水合金製作所、(株)オーケーエム 参加学生数:23名	立命館大学、聖泉大学	日時:2016年2月23日(火)13:00～17:00 場所:環びわ湖大学・地域コンソーシアム 会議室 参加企業:5社((社)近畿健康管理センター、(株)叶匠壽庵、(株)京進、(株)日吉、新江州(株)) 主催:滋賀県(地域中小企業・小規模事業者人材確保等定着支援事業他) 共催:滋賀県中小企業団体中央会、環びわ湖大学・地域コンソーシアム 参加者数:16名	(主担当校)長浜バイオ大学 (副担当校)聖泉大学
	学生(保護者)を対象とした就職活動に活かす講演会の実施	今年度はなし		保護者向け就活サポート 日時:2015年11月7日(土)10:00～12:00 場所:大津市役所 新館 第1部 講演会 講題・講師:現在の雇用情勢他・久保田 暁氏((株)HONKI) 第2部 保護者との座談会 コーディネーター・久保田 暁氏((株)HONKI) 第3部 講演会 地元企業としての役割について他・井上昇氏((株)井之商 代表取締役) 主催:大津市 共催:滋賀県中小企業団体中央会 協力:環びわ湖大学・地域コンソーシアム 参加保護者:17名	(主担当校)長浜バイオ大学 (副担当校)聖泉大学
5)滋賀県男女共同参画課と共催企画(ワーク・ライフ・バランス講演会の開催ほか)		日時 11/26 場所 草津市市民交流プラザ 「ハッピーキャリアカフェ」	立命館大学	実施なし (滋賀県女性活躍推進課(課名変更)と協議)	(主担当校)龍谷大学
6)企業採用経験者による模擬面接会		期間 5/16から7/29 場所 実施希望大学	実施校個別対応	日時:2015年5月～6月(主担当校)龍谷大学 場所:加盟大学の指定場所 実施校:4大学(内訳:びわこ学院大学、滋賀大学、滋賀短期大学、龍谷大学) 参加者数: 主催:滋賀経済産業協会 後援:環びわ湖大学・地域コンソーシアム	(主担当校)龍谷大学

平成28度 単位互換事業報告

1. 担当校

主担当校 龍谷大学
副担当校 滋賀医科大学

2. 取り組みの経過について

2015年11月9日に環びわ湖大学・地域コンソーシアム事務局会議室において、単位互換事業委員会及び教務担当者会議合同会議（以下「合同会議」という。）を開催し、2016年度の単位互換事業の進め方（「ガイドライン」）について協議・決定し、2016年度の事業を開始した。

各大学からの提供科目及びシラバス原稿の集約を行い、3月下旬に環びわ湖大学コンソーシアム単位互換制度のHPを更新した。また、募集チラシ・ポスターを作成し、各大学に配布した。4月上旬から、各大学で募集ガイダンスと出願受付を行い、4月末に科目提供大学で受講者を決定し、各大学で単位互換科目の授業が行われた。

2016年7月14日に同事務局会議室において合同会議を開催し、単位互換事業の進捗状況の報告を行った。また、2017年度向けパンフレットに「おうみ学生未来塾」の紹介を掲載することを協議・決定し、各大学における集中講義の実施及び単位互換科目としての提供についての意見交換を行った。

2016年11月21日に同事務局会議室において合同会議を開催し、後期試験時間割・成績処理日程等について確認を行った。また、単位互換履修生の無断欠席が多いことから、授業を欠席する場合の連絡方法について確認を行った。

3. 単位互換事業の内容について

(1) 提供科目

2016年度の提供科目数は73科目（同一科目を複数の曜日時限に開講する場合にそれぞれを1科目として数えたもの）で、2015年度と比べて4科目の減少となった。そのほか、集中講義は6科目で同数、滋賀らしい科目は15科目で4科目増加した。

なお、実質的な科目数（学生が選択できる科目数）は、2016年度は71科目、2015年度は77科目であり、6科目減少である。

【別紙（1） 2016年度 各大学提供科目一覧 参照】

(2) 受講科目及び受講者数

提供科目のうち、他大学生が出願し受講が許可された科目数は27科目であり、2015年度の最終時点より13科目減少した。受講率（＝受講科目数÷提供科目数）は37%で、2015年度（52%）からは減少となった。また、提供科目に対し受講者数が0名となった大学はなく、2015年度（2校）より2校減少した。

2016年度の受講者数は142件（実数101名）であり、2015年度からは16件（実数では14名）増加

した。また、出願数は142件で、出願ベースでも2015年度に比べ13件増加している。選考の結果、受入不可はなかった。

2016年度から開講した大学連携型PBL科目「おうみ学生未来塾」(3科目)の受講者数は、「おうみ学生未来塾(湖東)」〈滋賀県立大学〉が12名、「おうみ学生未来塾(湖北)」〈長浜バイオ大学〉が5名で、「おうみ学生未来塾(湖南)」〈立命館大学〉は0名との結果となった。

なお、5月23日(月)から6月6日(月)の間に追加募集で1件(実数1名)の出願があり、選考の結果、受講が許可されている。また、8月23日(火)から9月2日(金)の間に再追加募集には、出願者はいなかった。

【別紙(2) 提供科目数・受講科目数・受講率(2012年度～2016年度) 参照】

【別紙(3) 2016年度 授業科目別受講者数一覧 参照】

【別紙(4) 2016年度 各大学受講者数 参照】

(3) 大学別の送出件数・受入件数

大学別に「送出件数」「受入件数」を見ると、多くの大学において「送出件数」が低迷している。一方「受入件数」は、多少の差異があるものの分散化傾向にある。短期大学は、2年間で卒業する履修カリキュラムの制約から、出願が0件(2012～2016年度)の状況が続いている。

年度別に見ると「送出」は、2012年度は7大学、2013年度は6大学、2014年度は7大学と低迷し、2015年度は9大学と増加したが、2016年度は7大学と再び低下している。「受入」は、2012年度は11大学、2013年度は10大学、2014年度は8大学、2015年度は10大学と推移し、2016年度は12大学(全大学)において単位互換科目受講者を受け入れている。

【別紙(5) 各大学の送出件数・受入件数(2012年度～2015年度) 参照】

(4) 成績取得状況

2016年度の成績取得状況は、受講者数142件のうち合格が85件(59.9%)という状況で、2015年度の合格率59.5%(126件のうち75件合格)とほぼ変化がなかった。

また、2016年度は不合格者57件のうち、受講放棄・試験未受験と思われるもの(得点が「0」または成績評価が「評価不可」、「評価なし」、「出席日数不足」等)が45件(78.9%)あり、2015年度の不合格者51件のうち、受講放棄・試験未受験と思われるもの41件(80%)と、ほぼ同じような状況が続いている。

なお、学期ごとの成績取得状況は、前期(春学期)科目77件のうち、合格が53件(68.9%)で、後期(秋学期)科目65件のうち、合格が32件(49.2%)である。

以 上

別 紙

(1) 2016 年度 各大学提供科目一覧

科目提供大学	科目番号	科目名	回生	単位互換定員	開講期間	曜日	時限	単位
滋賀大学	1	経済学と現代	1回生以上	10名程度	春学期	火	4	2
	2	言語と文化	1回生以上	10名程度	春学期	火	4	2
	03a	問題解決の手法	1回生以上	10名程度	春学期	金	1	2
	03b	問題解決の手法	1回生以上	10名程度	春学期	金	4	2
	4	現代社会と法	1回生以上	10名程度	春学期	水	2	2
	5	近江とびわ湖Ⅱ	1回生以上	10名程度	春学期	火	3	2
	6	環境問題を学ぶ	1回生以上	10名程度	春学期	木	3	2
	7	情報化と社会	1回生以上	10名程度	秋学期	金	3	2
	8	数学的思考	1回生以上	10名程度	秋学期	火	4	2
	9	社会と会計	1回生以上	10名程度	秋学期	水	5	2
	10	物質とエネルギー	1回生以上	10名程度	秋学期	火	3	2
滋賀医科大学	11	彦根・湖東学	1回生以上	10名程度	秋学期集中	土		2
	12	医学概論Ⅰ	1回生以上	10名	前期	木	2	2
	13	医学概論Ⅱ	1回生以上	10名	後期	木	2	2
滋賀県立大学	14	臨床心理学	1回生以上	10名	前期	火	4	2
	15	地域産業・企業から学ぶ社長講義	1回生以上	10名程度	前期	月	4	2
	16	近江の歴史と文化	1回生以上	10名程度	後期	月	4	2
	17	近江の美	1回生以上	10名程度	前期	月	4	2
	18	びわこ環境行政論	1回生以上	10名程度	後期	月	4	2
	19	おうみ学生未来塾(湖東)	※①2回生以上	※②③全定員30名	夏季集中			2
滋賀短期大学	20	環境を考える	1回生以上	若干名	前期	木	1	2
	21	音楽をたのしむ	1回生以上	若干名	前期	木	1	2
	22	カラーコーディネート論	1回生以上	若干名	前期	月	2	2
	23	和服構成実習	1回生以上	若干名	前期	水	4	1
	24	生活工芸演習	1回生以上	若干名	後期	水	4	1
	25	オフィス総論	1回生以上	若干名	前期	水	4	2
	26	秘書実務Ⅰ	1回生以上	若干名	前期	金	3	1
	27	秘書実務Ⅱ	1回生以上	若干名	後期	水	2	1
滋賀文教 短期大学	28	国文学史Ⅱ	1回生以上	若干名	春学期	木	1	2
	29	俳諧・俳句	1回生以上	若干名	秋学期	月	1	2
成安造形大学	30	近江学B	1回生以上	10名程度	不定期			2
	31	琵琶湖の民俗史	1回生以上	10名程度	後期集中			2
	32	西洋美術史A	2回生以上	10名程度	前期	火	1	2
	33	西洋美術史B	2回生以上	10名程度	後期	火	1	2
	34	東洋・日本美術史概説A	1回生以上	10名程度	前期	水	1	2
	35	東洋・日本美術史概説B	1回生以上	10名程度	後期	水	1	2
聖泉大学	36	心理学概論A	1回生以上	若干名	前期	月	2	2
	37	現代人と健康	1回生以上	若干名	後期	水	3	2
	38	滋賀論	1回生以上	若干名	前期集中			2
長浜バイオ大学	39	生物学基礎	1回生以上	5名以内	前期	水	1	2
	40	エッセンシャル生物学Ⅰ	1回生以上	5名以内	前期	月	3	2
	41	基礎微生物学	2回生以上	5名以内	前期	月	2	2
	42	遺伝子工学	2回生以上	5名以内	後期	火	3	2
	43	おうみ学生未来塾(湖北)	※①2回生以上	※②③全定員36名	夏期集中			2

科目提供大学	科目番号	科目名	回生	単位互換定員	開講期間	曜日	時限	単位
びわこ学院大学	44	子ども学総論	1回生以上	若干名	前期	火	4	2
	45	滋賀の環境	1回生以上	若干名	後期	火	1	2
	46	特別支援教育論(初等)	1回生以上	若干名	後期	木	4	2
	47	スポーツバイオメカニクス	2回生以上	若干名	後期	月	1	2
	48	メンタルトレーニング論	2回生以上	若干名	前期	火	2	2
	49	ビジネスコミュニケーション	1回生以上	若干名	後期	金	1	2
	50	日本語表現Ⅰ	1回生以上	若干名	前期	月	4	2
	51	日本語表現Ⅱ	1回生以上	若干名	後期	月	3	2
	52	生活と福祉	1回生以上	若干名	後期	水	3	2
	53	レクリエーション論	1回生以上	若干名	後期	月	3	2
びわこ成蹊 スポーツ大学	54	地球の歴史とびわ湖*	1回生以上	若干名	前期	金	1	2
	55	地球の歴史とびわ湖*	1回生以上	若干名	後期	金	1	2
	56	スポーツバイオメカニクス	1回生以上	若干名	前期	金	4	2
龍谷大学	57	地域関係論	2回生以上	不問	前期	月	1	2
	58	里山学	1回生以上	10名程度	前期	月	3	2
	59	環境と人間A	2回生以上	20名程度	前期	月	4	2
	60	ジャーナリズム論Ⅰ	2回生以上	不問	前期	火	2	2
	61	生活の中の数学	1回生以上	15名程度	前期	水	3	2
	62	人間の心理と発達	2回生以上	不問	前期	木	4	2
	63	びわ湖・滋賀学	2回生以上	不問	後期	水	1	2
	64	まちおこし論	2回生以上	不問	後期	水	1	2
立命館大学	65	ODA・国際援助論 E	3回生以上	10名程度	夏期集中Ⅱ			2
	66	スポーツ栄養学 V	2回生以上	10名程度	前期	木	3	2
	67	科学と技術の歴史 TA	1回生以上	10名程度	前期	木	5	2
	68	情報技術と社会 TA	1回生以上	10名程度	前期	木	4	2
	69	科学・技術と社会 C	1回生以上	10名程度	後期	水	4	2
	70	生命科学と倫理 M	1回生以上	10名程度	前期	月	5	2
	71	薬学概論 Y	1回生以上	10名程度	前期	火	1	2
	72	おうみ学生未来塾(湖南)	※①2回生以上	※③5名	通年	水	5	2

(2) 提供科目数・受講科目数・受講率(2012年度～2016年度)

科目提供大学		滋賀大学	大滋賀医科大学	滋賀県立大学	滋賀短期大学	短期賀大文	大成学造	聖泉大	大長浜バイ	大びわこ学院	スビポーこつ大成蹊	龍谷大学	大立命館学	全大計
2012年度	提供科目数	7	6	2	10	3	4	1	4	7	3	8	9	64
	受講科目数	4	4	2	1	2	1	1	1	5	0	6	2	29
	受講率	57%	67%	100%	10%	67%	25%	100%	25%	71%	0%	75%	22%	45%
2013年度	提供科目数	11	6	4	8	2	4	1	4	4	2	9	7	62
	受講科目数	7	5	2	4	2	2	1	0	1	0	8	2	34
	受講率	64%	83%	50%	50%	100%	50%	100%	0%	25%	0%	89%	29%	55%
2014年度	提供科目数	11	6	3	8	2	6	3	4	4	2	8	8	65
	受講科目数	8	3	2	3	0	3	2	0	0	0	7	3	31
	受講率	73%	50%	67%	38%	0%	50%	67%	0%	0%	0%	88%	38%	48%
2015年度	提供科目数	11	6	4	8	3	8	3	4	13	2	8	7	77
	受講科目数	10	6	2	4	1	3	2	0	3	0	7	2	40
	受講率	91%	100%	50%	50%	33%	38%	67%	0%	23%	0%	88%	29%	52%
2016年度	提供科目数	12	3	5	8	2	6	3	5	10	3	8	8	73
	受講科目数	4	2	1	3	1	1	2	1	1	2	7	2	27
	受講率	33%	67%	20%	38%	50%	17%	67%	20%	10%	67%	88%	25%	37%

※ 自大学への出願は除く

(3) 2016 年度 授業科目別受講者数一覧

2016年度受講科目一覧(提供科目数:73科目 受講科目数:27科目)				
科目番号	科目提供大学名	科目名	受講者数	集中講義
04	滋賀大学	現代社会と法	3	
06	滋賀大学	環境問題を学ぶ	1	
07	滋賀大学	情報化と社会	1	
11	滋賀大学	彦根・湖東学	24	○
12	滋賀医科大学	医学概論Ⅰ	1	
13	滋賀医科大学	医学概論Ⅱ	1	
19	滋賀県立大学	おうみ学生未来塾(湖東)	12	○
22	滋賀短期大学	カラーコーディネート論	2	
25	滋賀短期大学	オフィス総論	1	
26	滋賀短期大学	秘書実務Ⅰ	2	
29	滋賀文教短期大学	俳諧・俳句	2	
30	成安造形大学	近江学B	7	
36	聖泉大学	心理学概論A	1	
38	聖泉大学	滋賀論	39	○
43	長浜バイオ大学	おうみ学生未来塾(湖北)	5	○
47	びわこ学院大学	スポーツバイオメカニクス	1	
54	びわこ成蹊スポーツ大学	地球の歴史とびわ湖(前期)	2	
56	びわこ成蹊スポーツ大学	スポーツバイオメカニクス	1	
57	龍谷大学	地域関係論	4	
58	龍谷大学	里山学	4	
59	龍谷大学	環境と人間A	6	
61	龍谷大学	生活の中の数学	3	
62	龍谷大学	人間の心理と発達	6	
63	龍谷大学	びわ湖・滋賀学	8	
64	龍谷大学	まちおこし論	3	
65	立命館大学	ODA・国際援助論E	1	○
70	立命館大学	生命科学と倫理M	1	
総 計			142	5科目

(4) 2016 年度 各大学受講者数

2016年度		学生所属大学												
		滋 賀 大 学	滋 賀 医 科 大 学	滋 賀 県 立 大 学	滋 賀 短 期 大 学	短 滋 期 賀 大 文 学 教	成 安 造 形 大 学	聖 泉 大 学	長 浜 バ イ オ 大 学	び わ こ 学 院 大 学	ス ポ ー ツ 大 学 成 蹊	龍 谷 大 学	立 命 館 大 学	総 計
科 目 提 供 大 学	滋賀大学			1									28	29
	滋賀医科大学												2	2
	滋賀県立大学												12	12
	滋賀短期大学									1		1	3	5
	滋賀文教短期大学												2	2
	成安造形大学		1										6	7
	聖泉大学	1											39	40
	長浜バイオ大学	2											3	5
	びわこ学院大学												1	1
	びわこ成蹊スポーツ大学						1						2	3
	龍谷大学												34	34
	立命館大学	1		1										2
総 計		4	1	2	0	0	1	0	0	1	0	1	132	142

(5) 各大学の送出件数・受入件数(2012年度～2016年度)

	送出件数					総計	受入件数					総計
	2012	2013	2014	2015	2016		2012	2013	2014	2015	2016	
滋賀大学	15	8	9	6	4	42	29	36	29	31	29	154
滋賀医科大学	2	2	3	1	1	9	8	20	15	18	2	63
滋賀県立大学	4	0	0	4	2	10	2	6	2	3	12	25
滋賀短期大学	0	0	0	0	0	0	2	9	6	9	5	31
滋賀文教短期大学	0	0	0	0	0	0	3	3	0	1	2	9
成安造形大学	0	0	1	2	1	4	3	2	17	9	7	38
聖泉大学	0	11	11	11	0	33	39	20	12	19	40	130
長浜バイオ大学	12	12	0	6	0	30	1	0	0	0	5	6
びわこ学院大学短期大学部	1	1	1	0	1	4	6	2	0	4	1	13
びわこ成蹊スポーツ大学	0	0	1	4	0	5	0	0	0	0	3	3
龍谷大学	2	0	0	1	1	4	23	46	26	27	34	156
立命館大学	86	113	88	91	132	510	6	3	7	5	2	23
総計	122	147	114	126	142	651	122	147	114	126	142	651

以 上

平成 29 年 3 月 31 日

平成 28 年度広報事業報告

1. 担当は以下の通り

事務局

2. ホームページの管理・運営について

コンソーシアムの委員会体制の変更等に対応してホームページを一部改訂した。また、各大学で開催されるイベント等の情報提供を行った。年度内において「お知らせ」記事を 66 件ホームページ上で掲載した。

情報内容の更新

- ① 事業委員会部会のページについて、平成 28 年度の事業内容に更新した。
- ② 6 月 7 日および 3 月 27 日の総会の決議を受けて、組織図、役員一覧、役員会議事録、財務状況を更新した。
- ③ 一部の大学について、紹介ページを更新した。

なお、年度内のアクセスは 29,000 件（昨年度は 27,619 件）であった。

3. 広報資料の作成・配布

コンソーシアムを紹介する資料として、2016 年度版のリーフレット（A4・カラー 4 ページ）8,000 部を作成し、3 月初旬に印刷完了、会員および関係機関に配布した。

4. 事業委員会と連携した広報活動について

大学地域連携事業（大学地域連携課題解決支援事業、環びわ湖大学地域交流フェスタ）、学生支援事業（滋賀の魅力発信動画の掲載）、就職支援事業（合同企業説明会、環びわ・しが就活塾など）、単位互換事業（互換科目の受講案内）について、各事業委員会と連携してホームページ掲載をはじめとした広報を行った。

（以上）

平成29年3月31日

平成28年度 本法人全体に関わる事業報告

1. 滋賀県からの受託事業

大学連携政策研究事業（「大学の力を活用した地域課題解決のための調査研究実証事業」）

1. 事業の趣旨・目的

滋賀県には13大学が立地し、3万3千人を超える学生が在籍し、平成28年度の対人口学生数比は全国8位と学生比率の高い県となっている。一方、滋賀県も人口減少局面に転じ、地域コミュニティの弱体化や地域経済の衰退など、各市町で様々な課題（地域課題）が顕在化している。

こうした地域課題を調査、分析し、解決策を立案し実行していく過程で、大学が有する専門的な知見と学生の若い力の活用が効果的といわれているが、県内19市町のうち大学が立地するのは5市に集中し、各大学と各地域が組織的に情報共有と協議を行う仕組みが不十分なことから、地域の抱える地域課題と大学が持つ解決能力を十分マッチングできていないのではないかという懸念がある。

そこで、県内市町の地域課題（ニーズ）と県内大学の課題解決能力（シーズ）を網羅的に調査・分析するとともに、3市町を選定し重要な特定の地域課題をテーマとして市町と大学の関係者が実際に協議して、どのような取り組みができるのか、連携上の課題は何かを実証する。また、大学と市町の連携代表者が一堂に会し、先進事例に関する講演会や意見交換等を行うことで、大学と市町の連携に関する協議を促進する。

2. 委託期間 平成28年4月1日～平成29年3月31日

3. 受託調査の実施内容

以下について実施および調査分析を行い、その結果を取りまとめた報告書を作成した。

（1）県、市町・大学等連携代表者会議の開催

地域課題解決のための協働モデル構築に向けた趣旨確認と意識共有の場として、県、県内市町の代表および県内大学の代表等が一堂に会する会議を開催した。

[第1回]

日時 平成28年7月26日（火）13:30～16:30

テーマ「人口減少時代における地域課題解決にむけて自治体と大学との協働をつくる」

- 内容 1、基調講演 「地域と大学の未来をつくる地域・大学連携」
ー「協働的学び」の意義と必要性を中心にー
講師：高知大学地域協働学部・学部長 上田健作
- 2、事例報告 「近江八幡未来づくりキャンパスの取り組み」
(株) まっせ (近江八幡市まちづくり会社) 田口真太郎
- 3、フロア討議 「地域課題をどう解決するか？」
ー自治体と大学等との協働の課題ー
コーディネータ 顧問 仁連孝昭
県内自治体・大学等との連携の課題について意見交換
- 4、地域課題解決のためのニーズ・シーズに関する調査について
環びわ湖大学・地域コンソーシアム事務局長 堀部栄次
- 参加者 滋賀県、各市町大学連携代表者、各大学等地域連携代表者 38名

[第2回]

日時 平成29年3月2日(木) 13時30分～16時30分

場所 環びわ湖大学・地域コンソーシアム会議室

内容

- 基調講演 「大学と地域の連携事業の現状と課題、今後の方向」
ー公益社団法人 大学コンソーシアム石川の地域連携事例よりー
(公社) 大学コンソーシアム石川 運営委員会委員
金沢星稜大学学長補佐・人間科学部教授 池田 幸應
- 調査報告 「地域課題解決のための大学と自治体の連携・協働に関する調査および実証
結果について」
(一社) 環びわ湖大学・地域コンソーシアム事務局長 堀部 栄次
- 意見交換 「地域と行政と大学の連携・協働をさらに進めるために必要なこと」
コーディネータ 環びわ湖大学・地域コンソーシアム顧問 仁連孝昭

(2) 県内自治体の地域課題の洗い出しと分析、県内大学が有する地域課題解決のための
シーズの洗い出しと分析

県内大学の教員や地域学等を専門とする学識経験者によりチームを編成し、各自治体へのアンケート調査等を通じて、市町レベル(または市町内の地域レベル)で存在する、あるいは今後顕在化する地域課題を調査・分析し、大学等との連携で何を期待しているか具体的にとりまとめた。また、県内の各大学がどのような専門能力を有するか、またどのように地域課題の解決に貢献できるかを網羅的に調査・分析し、地域課題解決に向けたツ

ールとして体系的にとりまとめた。

具体的には、平成28年7月1日（金）～8月5日（金）の期間で、滋賀県内19市町（企画担当部署）および滋賀県内に所在する13大学等（事務局または地域連携関係部署）を対象にアンケート調査を行い、市町と大学等の両方に、平成26、27年度において、地域課題の解決をめざした活動において大学等あるいは市町との連携した実績の有無を質問した。

また、地域課題の22類型を提示して、市町の大学等との協働ニーズおよび大学等の協働シーズの種類、市町の大学等に期待する役割（ニーズの内容）および大学等が果たせる役割（シーズの内容）、市町の達成目標の概要、大学等の取り組める内容の概要、市町が連携を希望する大学等名・大学等が連携を希望する市町名、双方が連携を期待する期間、双方が連携・協働する上での問題点、担当部署名を質問した。19市町、13大学・短期大学から回収したが、1市は記入がなかった。

結果を取りまとめ、分析を行うとともに、地域課題解決に向けてツールとしてマッチング表を作成し、12月20日に滋賀県に中間報告を行った。

（3）モデル市町における地域・大学協働モデルの試行

（2）の調査を経て、自治体と大学で連携効果が高いと見込まれる課題や各自治体に共通性の高い課題等を考慮して3自治体を選定し、該当市町の行政担当者と大学関係者等が集い、大学と市町の協働によってどのような取り組みができるか検討し、市町・大学代表者等会議に報告した。

具体的には、県の地理的バランスを考慮して、大津市、東近江市、長浜市をモデルとして選定し、地域課題としてニーズの高い課題から事前協議をへて1～2課題に絞り込み、シーズを持つ大学と具体的な協議を行った。

①東近江市 「人口減少に対応したコミュニティ・集落機能の維持」

平成28年11月14日に、取り上げた課題に対してシーズをもつ滋賀大学、龍谷大学、立命館大学、滋賀県立大学が東近江市と課題への対応と問題点を協議した。

②長浜市 「ICTを活用した地域コミュニティの機能維持」および

「市民活動における公民館（まちづくりセンター）の活用」

平成29年1月12日に、取り上げた課題に対してシーズをもつ滋賀大学、龍谷大学、立命館大学、滋賀県立大学が長浜市と課題への対応と問題点を協議した。

③大津市

平成28年11月24日 事前協議を行ったが、重要な地域課題については連携協定を結んだ大学等と協議中のため新たに大学等と協議する課題がなく終了した。

(4) 基礎データの収集・集計・分析

人口減少を見据えた大学と地域の連携のあり方調査報告書（平成27年12月）
の27年度分データの追跡調査

- ① 県内大学（大学院・短期大学含む。以下同様）数・学生数推移、留学生推移
- ② 県内大学の入学定員・収容定員（28年5月現在）
- ③ 県内大学の教員数（28年5月現在）
- ④ 県内高校生の卒業後の進学先・高校卒業後の県内大学への入学者数（都道府県別）
- ⑤ 県内大学卒業時の就職状況の推移（28年3月卒業者） 等

4、成果品の提出

報告書 A4判 カラー両面刷り10部、白黒両面刷り100部、同電子データ（ワードおよびエクセルデータ）1式を平成29年3月31日（金）に提出した。

5、調査成果

①地域課題解決に関する市町の大学等連携ニーズと大学等のシーズの調査分析

地域課題を22類型に分類し、県内市町の大学等に対するニーズと県内大学の課題解決シーズを「見える化」して、両者をマッチングした表を作成し、市町、大学に配布した。あわせて、大学等に期待する役割、市町に果たせる役割、連携期間、連携上の課題を聞き、集約して分析した。その結果、ニーズ、シーズの過不足などが判明したが、大きな問題点として、市町で「地域課題を把握し、地域と協働する仕組みが十分機能していない」とする回答が多いことが判明した。

②モデル市町における地域・大学協働モデルの試行

大津市、東近江市、長浜市の3市をモデルとして、優先順位の高かった地域課題を取り上げ、解決に向けた協議を行う実証を行った。その結果、優先順位の高い地域課題は、既に何らかの大学連携が行われており協議対象にならなかった。代わって、「人口減少に対応したコミュニティ・集落機能の維持」「地域づくり人材、コミュニティビジネス人材等の育成」が協議課題となり、現状では、市町も大学も対応が難しい課題であることが浮き彫りになった。これについて、複数のケース検討を行い、ファシリテータの養成と「地域プラットフォーム」の形成およびネットワーク型の「広域オープン・プラットフォーム」の形成という解決策の提案を行った。

③滋賀県、市町、大学等連携代表者会議における認識の共有

第1回は、「地域・大学連携」の先進事例として新設された「高知大学地域協働学部」の教育研究の理念と具体的な内容を上田健作学部長に講演いただき、学生と社会人の協働的な学びを通じて地域協働リーダーの育成を目指していることを報告いただいた。また、地域課題

解決に向けた「近江八幡未来づくりキャンパスの取り組み」を株式会社まっせ（近江八幡市まちづくり会社）田口真太郎氏に報告いただいた。第２回は、大学コンソーシアム石川と金沢星稜大学が取り組んできた地域協働の成果と課題、継続することの大切さを金沢星稜大学学長補佐池田幸應教授に講演いただいた。さらに、参加者のワークショップでは、連携をより進めるための提案をとりまとめた。

④大学等の基礎データの収集・集計・分析

平成２８年度の県内大学の学生数や就職者数などの基礎データを収集・集計・分析した。このうち、平成２７年度卒業者のうち就職者は５,８８６人であったが、県内就職者数は、前年と同数の１,１１８名（１９％）であった。就職先では公務（教育・医療を含む）が４３５名と最も多く、次いで介護福祉１８３名、製造業１４１名の順となった。傾向としては公務への志向が強まった。

２、滋賀県等の各種団体への協力

- （１）滋賀・びわ湖ブランドネットワーク事業検討ワーキングへの協力（５回）
（滋賀・びわ湖ブランド発信手法の構築、滋賀・びわ湖ブランドネットワーク交流会、首都圏情報発信拠点にかかる検討）
- （２）近江牛を核とした“しがのプレミアムツアー”インバウンド基盤整備への協力
（留学生１７名による１０件のツアー、近江牛体験と母国語等によるFB発信）
- （３）もっと食べよう近江米県民運動への協力
（大学イベント（学園祭）等に近江米を試供、消費拡大をPR）
- （４）少子化対策学生プロジェクト（４大学８チーム）、大学生向けライフデザイン講座（６大学１０講座）への協力
- （５）その他、小さな企業応援月間、産業雇用創造プロジェクト、企業等への協力